

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【公開番号】特開2009-177222(P2009-177222A)

【公開日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2009-031

【出願番号】特願2009-119101(P2009-119101)

【国際特許分類】

H 01 L 31/042 (2006.01)

H 01 L 31/04 (2006.01)

【F I】

H 01 L 31/04 C

H 01 L 31/04 Y

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月2日(2010.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のセルストリングを備えるセルモジュールを備え、前記セルストリングは、コンタクトラインを通じて互いに直列接続された複数のセルを備え、

前記セルは、表面電極、複数の光電変換層及び裏面電極をこの順に重ねて備え、前記コンタクトラインは、隣接する2つの前記セルのうちの一方の表面電極と他方の裏面電極とを電気的に接続し、

前記セルストリングは、各セルストリングで発生した電流が互いに流入可能なように電気的に接続され、

光源：キセノンランプ、放射照度：100mW/cm²、AM：1.5、温度：25という条件下における、前記セルモジュールの出力をP(W)、前記セルストリングの出力をPs(W)、前記コンタクトラインの面積をSc(cm²)としたときに、(P-Ps)/Scが1(kW/cm²)以上10.7(kW/cm²)以下であり、Pが90W以上160W以下であり、

Psが30W以下であり、前記セルストリング中の各セルのRB電流値は0.019mA/cm²以上6.44mA/cm²以下であることを特徴とする薄膜太陽電池モジュール。

【請求項2】

前記コンタクトラインは、幅が40μm以上200μm以下である請求項1に記載の薄膜太陽電池モジュール。

【請求項3】

前記表面電極は、SnO₂を含む材料からなる透明導電膜からなり、

前記裏面電極は、透明導電膜と金属膜の積層構造を有する請求項1または2に記載の薄膜太陽電池モジュール。